記　事

例会記録

日本医史学会・日本薬史学会・日本獣医史学会・日本歯科医史学会・日本看護歴史学会
合同12月例会　平成23年12月10日（土）
順天堂大学医学部9号館2階8番教室

1. お玉ヶ池種痘所あれこれ　深瀬泰旦
2. 切手で辿る薬学の歴史　平林敏彦
3. 占領期における日本の看護改革
～保健婦助産婦看護婦法の改正をめぐって～
田中幸子
4. 『口歯類要』における口歯の意味的考察
西巻明彦
5. 新たに判明した忠犬ハチ公の死因について
中山裕之

日本医史学会1月例会　平成24年1月28日（土）
順天堂大学医学部11号館16階北フロア

1. 先輩たちの筆跡　岡田靖雄
2. 東日本大震災・被災地の状況について
DVD放映
（「有床診療所の日」記念講演会　森田　潔）

例会抄録

お玉ヶ池種痘所あれこれ

深瀬　泰旦

1. 準備にいそがしい開設前夜

開所を明日に控えた前夜の多忙の様子を「池田文書」に収蔵されている書状によって，来会者に粗相のないように心配りをしながらも，それがあまりに大仰にならないようにと心懸けている様子をしることができた．大槻俊斎と伊東玄朴は相談のうえ，築地小田原町の「弁松」の仕出し弁当を40人分注文することになった．当日の飾り付けはあまりに華美にわたらないようにという指示を留守居役に予定されている池田玄仲にあたえている．

開設までにくわえられた漢方医側からの圧迫や干渉にたえて，ようやくの思いでここまでこぎつけたことを思うと，大々的な開所祝いは控えたほうが世間の反発をまねかないと考えたからであろう．剛毅な伊東玄朴も，この点では大槻俊斎と完全に意見が一致していた．

2. 拠金者名簿の配列とその名面

現今，われわれが眼にすることができる「お玉ヶ池種痘所建設拠金者名簿」は，呉秀三の『箕作阮甫』にのるものがもっとも正確である．ここにはこの挙に参加した83名の医師の名が書かれているが，当初は個人情報としては姓名以外はまったく知られていないものが28名におよんでいたところ，その後の調査研究によって5名の経歴を明らかにすることができた．それによると，名簿の前半部分におかれているものに経歴などが判明しているものがおおいことに気づく．その名面をみると伊東玄朴の門人が11名，大槻俊斎門

が4名，川本幸民門が4名，緒方洪庵門が5名，初代坪井信道の関係者が14名でもっともおおい．師弟関係以外では大槻俊斎や伊東玄朴などにみられるように，蘭学を学ぶものの誼からの強い絆がみられる．

3. 箕作阮甫はなぜ名簿の筆頭におかれたのか

お玉ヶ池種痘所の発足に先立って設置された蕃書調所は，先行の施設としてお玉ヶ池種痘所におおきな影響をあたえている．嘉永6年（1853）の長崎での日ロ交渉にあたって中心的役割を果たした川路聖謨は，豊富なロシアの知識をもっていた箕作阮甫に同行をもとめ，これによってさらにお互いの親交は深まり，その学問と見識を尊敬しあうようになった．蕃書調所の開設にあたって川路聖謨はその推進に力をつくし，この両者の絆はさらに強固なものになった．そのような基盤をもった箕作阮甫をかいして川路聖謨の理解をもとめ，幕府に提出する種痘所建設申請書の名義人になることの了解をとりつけることができた．その論功行賞として箕作阮甫が名簿の筆頭者としての地位をあたえられたということができる．

4. 二の丸製薬所について

関場不二彦によると，江戸城内二の丸において享保10年（1725）にはすでに丁子油が製造されていたという．その後連綿としてこの事業は継続されていたようで，伊東玄朴が文久2年（1862）にこの施設に板囲いを施すことを申請し，それが許可されている．しかし二の丸製薬所についての文献はとぼしく，その実態は不分明である．

（平成23年12月例会）

切手で辿る薬学の歴史

平林　敏彦

はじめに

薬学の歴史については，今までに多くの研究者により多角的に研究され発表されてきたが，筆者は，約100種の薬学に関係する切手により薬学の歴史を概説する．

切手の歴史

郵便切手を国家として初めて発行したのはイギリスで，1840年5月である．

以来，今日までの170年余に200を超す国・地域から約70万種の切手が発行されている．医学切手は約1.5万種といわれ，その中に薬学に関連した切手が含まれている．

薬学の歴史

1. 古代エジプト：世界最古の医学書と言われているのが，B.C.1550年頃に編纂された『パピルス・エーベルス』である．1872年にドイツ人エーベルスによりナイル河流域で発見されたが，約880の医術の処方が記載されている．本書の内容解読は，1822年シャンポリオンによる象形文字の解読が寄与している．（右切手：1981年旧東ドイツ発行）

2. 古代ギリシャ・ローマ～中世アラビア時代：ヒポクラテス，ディオスコリデス，ガレノス，アヴィセンナら医学の先駆者達が薬草や鉱物を処方した書物を多数著した．

3. 中世～ルネッサンス：①中世までは，薬剤師の職能は明確ではなかった．しかし，1240年，神聖ローマ帝国皇帝でナポリ王国の国王でもあったフリードリッヒ2世が薬事制度に関する法律を制定し，この中で初めて医薬分業制度を公布し